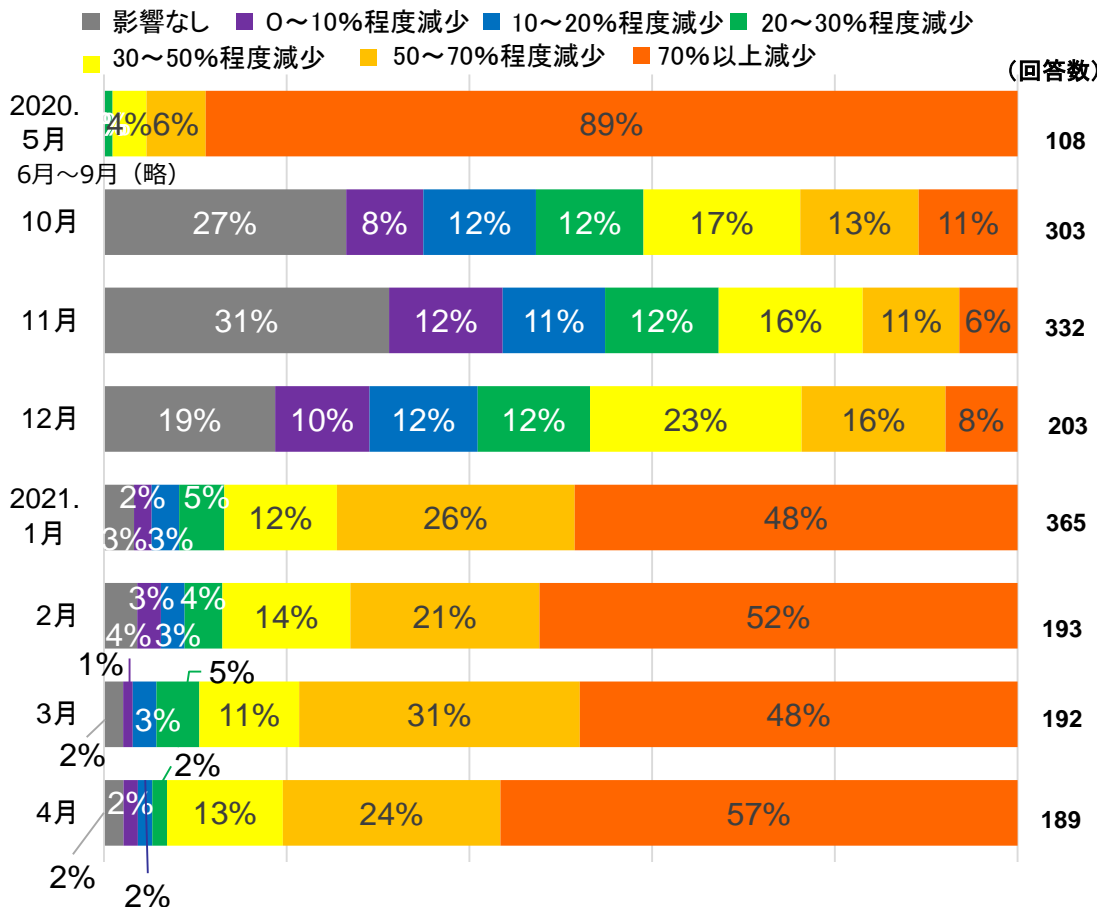


# 宿泊業の現状について

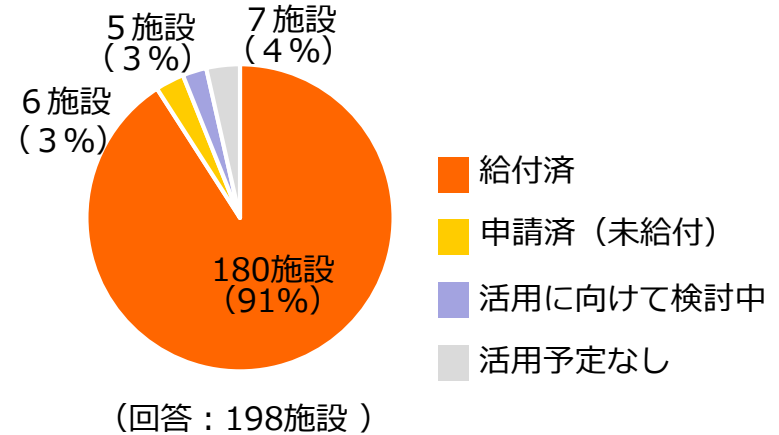
令和3年3月23日  
国土交通省提出資料

- **宿泊予約**については、**本年1月以降、約5割以上の施設が2019年度同月比で70%以上減少**となり、今後も厳しい状況が続く見込み。
- **今年の2月末までに94%の施設が資金繰り支援**を、**89%の施設が雇用調整助成金**を活用。

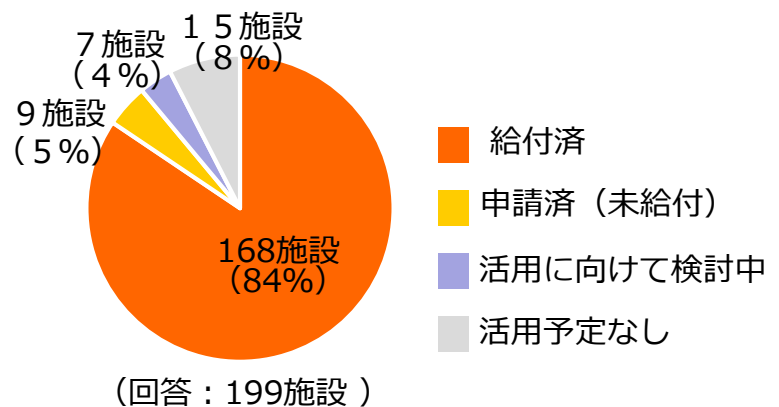
○予約状況（2019年同月比）（3・4月は見込み）



○資金繰り支援の活用状況（本年2月末時点）






○雇用調整助成金の活用状況（本年2月末時点）



※調査方法：宿泊事業者に対して、業界団体等経由で影響をアンケートし、200施設から回答。上記結果は本年2月末時点。

- 宿泊業界における雇用者数の約54%が非正規雇用者であり、そのうち女性の占める割合は約66%と高く、女性を含めた非正規雇用者への影響が懸念される。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大以前と比べ、正規雇用者数は約6%減少したのに対し、非正規労働者は約14%減少。非正規雇用者がより大きな影響を受けている。

	全雇用者数	うち 正規雇用者数	うち 非正規雇用者数
2019年 月平均	約62万人	約29万人	約33万人
	 約11%減少	 約6%減少	 約14%減少
2020年 月平均	約55万人	約27万人	約28万人

(注) 総務省統計局の労働力調査を基に観光庁にて作成。